

# 統合イノベーション戦略2023に係る 情勢等解説会



令和5年10月17日(火) 杉田茂樹(運営委員長(京都大学))

18日(水) 高橋菜奈子(運営委員(東京学芸大学))

19日(木) 前田隼(JPCOAR事務局)

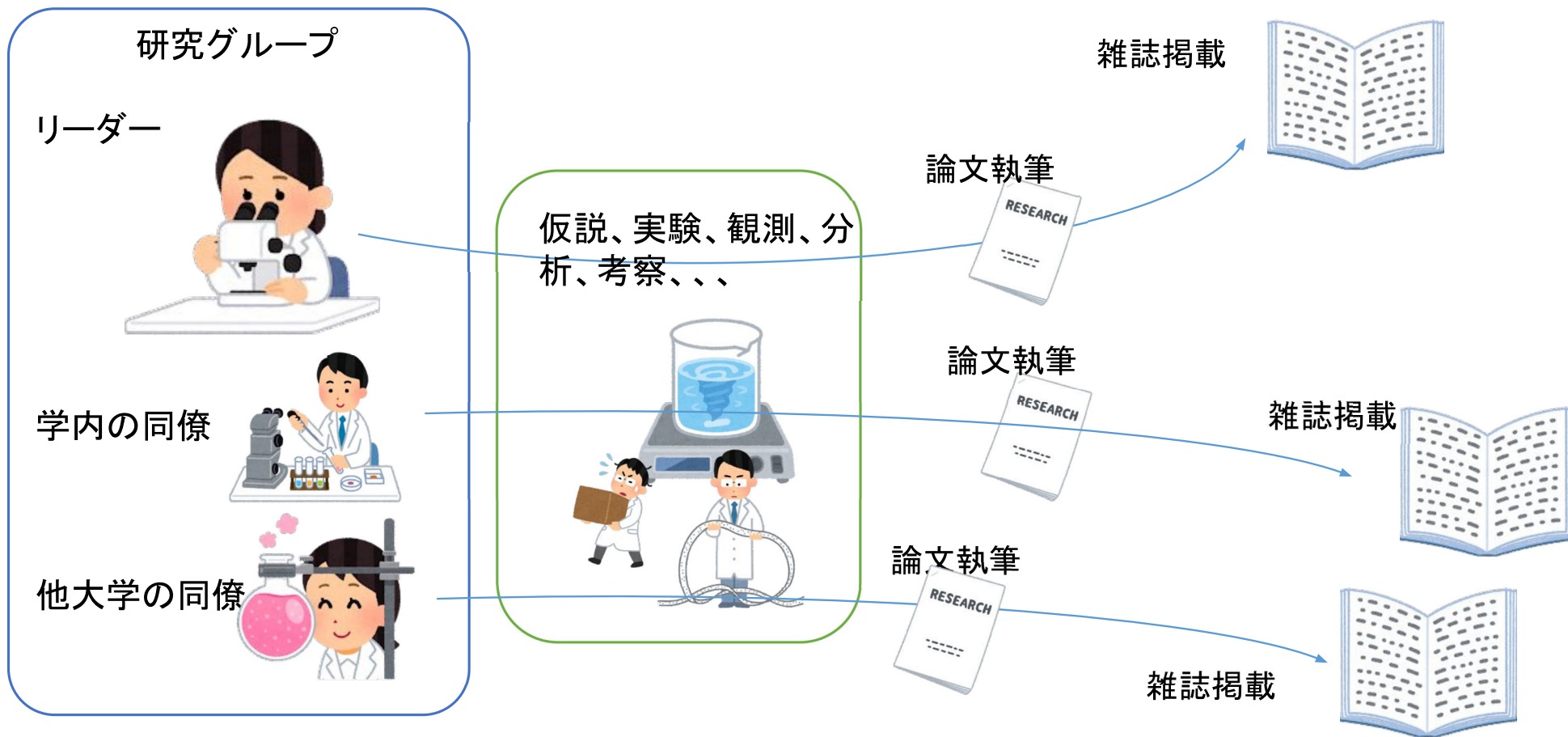
# 統合イノベーション戦略2023(令5.6閣議決定)

学術論文に付随するエビデンスデータの公開も求められる可能性が濃厚

## <学術論文等のオープンアクセス化>

- 2025年度新規公募分からの学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向け、国としての方針を策定【科技、文、関係府省】
- 学術情報流通の代替的手段としてプレプリントサーバーを構築し、新たな手段で研究成果の交流・拡散・可視化を推進。【科技、文】
- 論文の著者が自ら論文、研究データ、プレプリントなどの研究成果をリポジトリに蓄積し公開できるグリーンOAの実現に向けた環境整備を実施。【科技、文】
- 国内研究者の学術情報へのアクセスを確保するため、国の方針のもと学術プラットフォームに対する交渉力を強化するため、国としての方針に基づく大学等を主体とする交渉体制の構築を支援。【科技、文】
- 研究者や研究コミュニティの研究成果発信力の強化を実施。【科技、文、関係府省】

# 研究活動



↓ 以下、科研費を例に

申請

受給

成果報告

研究組織

研究代表者



学内の  
研究分担者



他大学  
研究分担者



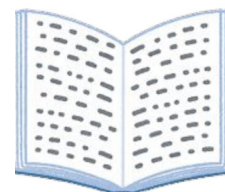
仮説、実験、観測、分  
析、考察、...



論文執筆



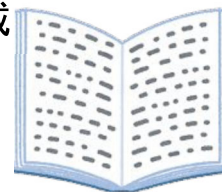
雑誌掲載



論文執筆



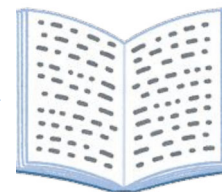
雑誌掲載



論文執筆



雑誌掲載



科研費を受給した研究者は、研究成果をオープンアクセス化(無料オンライン公開)するよう!

申請

受給

成果報告

研究組織

研究代表者



学内の  
研究分担者



他大学  
研究分担者



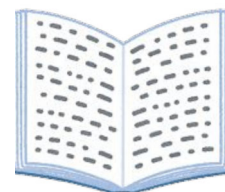
仮説、実験、観測、分析、考察、...



論文執筆



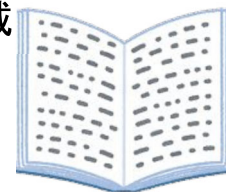
雑誌掲載



論文執筆



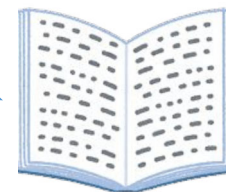
雑誌掲載



論文執筆



雑誌掲載



科研費を受給した研究者は、研究成果をオープンアクセス化(無料オンライン公開)するよう!

申請

受給

成果報告

研究組織

研究代表者



学内の研究分担者



他大学研究分担者



仮説、実験、観測、分析、考察、...



論文執筆



NG!

雑誌掲載

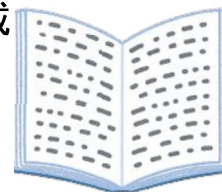


論文執筆



雑誌掲載

NG!

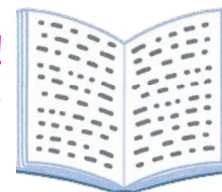


論文執筆



雑誌掲載

OK!





科研費を受給した研究者は、研究成果をオープンアクセス化(無料オンライン公開)するよう!

申請

受給

成果報告



論文執筆

論文執筆

論文執筆

雑誌掲載

有料販売の雑誌

機関リポジトリ

OK!

OK!

OR

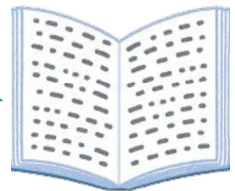
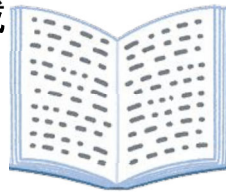
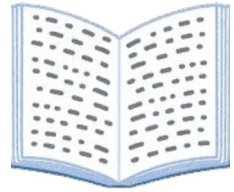
雑誌掲載

OK!

雑誌掲載

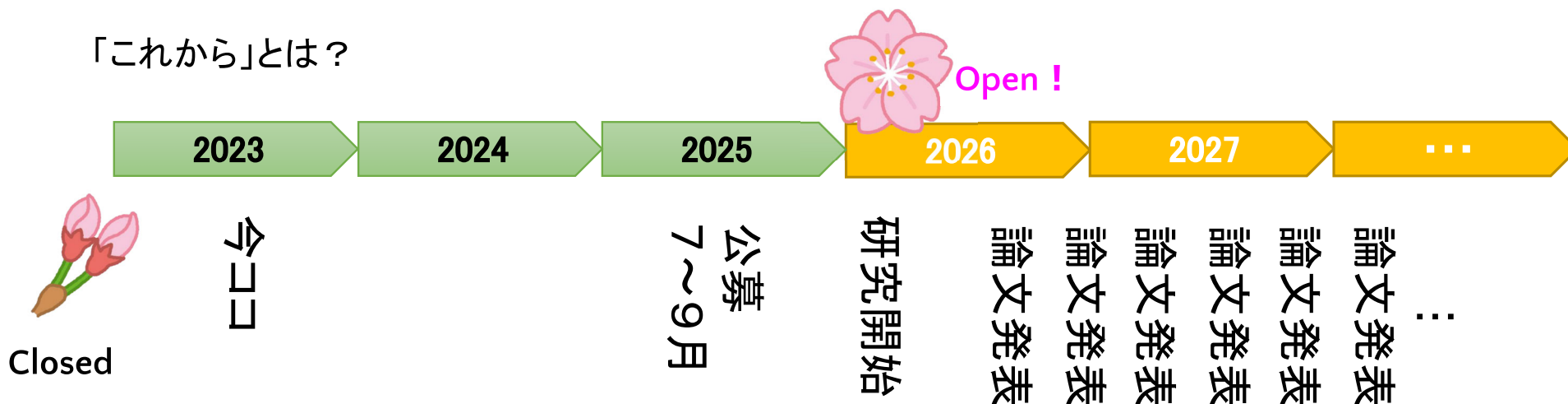
有料販売の雑誌  
(ただし著者がお金を払えば無料公開できる)

無料で公開される雑誌  
(オープンアクセス誌)



これまで	これから
<p>研究者がどのような論文を発表したかを図書館がなんらかの手段で把握し、機関リポジリでの公開を呼びかける または</p> <p>学術雑誌発表論文の機関リポジリ収載に至っていない</p> 	<p>研究者側から、自身が執筆した論文の機関リポジリでの公開を依頼してくる</p> 

「これから」とは？



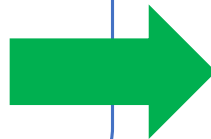


# 準備しよう！ ①規程改正

## 第〇条

本学機関リポジトリには以下の学術文献を収載するものとする。

- 「文学部紀要」
- 「経済学部研究報告」
- 本学が学位を授与した博士論文



## 第〇条

本学機関リポジトリには以下の学術文献を収載するものとする。

- 「文学部紀要」
- 「経済学部研究報告」
- 本学が学位を授与した博士論文
- 本学所属教員が学術雑誌に発表した研究論文(当該論文に付随する研究データを含む)

# 準備しよう！ ②関連部署との情報共有

- 研究推進担当部署との情報共有、役割確認
- 自大学の公的研究助成(科研費等)取得件数の把握

※ただし、具体的にどのようなルール化がなされるかは、年内公表とされる「国としての方針」、次いで、2025年版の公募要領を待つ必要がある。

# 準備しよう！ ③教員への説明・解説

- 広報資料の頒布（JPCOARがサンプル作成予定）
- 学内で開催される「科研申請セミナー」などの機会
- 機関リポジトリ画面での案内